

あかさき

北九州市立赤崎小学校
校長 田村 嘉浩

学校教育目標 「 豊かな心を持ち 自ら学び 健康でたくましく生きる児童の育成 」

- あいさつをする子ども
- かんがえる子ども
- さいごまでがんばる子ども
- きまりを守る子ども

J-POWERで学びました。!



6月7日(木)、6年生がエネルギー・環境学習会に出かけました。この日のテーマは、「森と電気のつながり」。先週、お知らせした本校の特色の一つ、環境教育の取組が具体的に始まりました。

J-POWER(電源開発株式会社)若松総合事業所は、昭和38年、石炭火力発電所として運転を開始。その後、平成元年に発電機を廃止。現在は、研究開発・人材育成のための研修所として重要な役割を果たしています。

電気や発電の学習から始めるのではなく、森の土壌の観察からスタートしました。土壌の持つ力を理解し、豊かな水資源を育む態度を育てることがねらいのようです。今日の学習が水力発電につながり、自然と電力の関係、電力(エネルギー)と自分とのかかわりを意識させていきます。

6年生のエネルギー・環境学習のキーワードは、「コントロール」です。自然はコントロールできませんが、エネルギーはできます。自然環境と生活に必要な電力との関係を意識し、うまく利用しながら、より豊かな暮らしをめざすことが大切です。自分の生活を見つめ直し、自ら行動できる子どもに育てます。

この学習は、夏、秋へと計画的に続いていきます。6年生の頑張りを、また、ご報告いたします。

敷地内の森の中へ・・・



落ち葉の 下に小さな生物を発見



環境研究所の高倉さんの解説



研修室での楽しい実験

生活科「ときどき わくわく まちたんけん」



地域の皆様 お世話になります

6月7日(木)、2年生が「まちたんけん」に出かけました。目標は、自分と身近な人々、地域の方や自然・施設に関心を持ち、気づきの質を高めることです。

繰り返し関わることを通して、自分から親しみをもって調べたり、質問したりする活動をうながします。自分が住んでいる地域のよさに気付かせ、大好きになることを目指しています。

またいずれ、子どもが姿を見せることがあるかもしれません。どうぞ、声をおかけください。ふるさとの温かさや、そこに親しむ心を育てたいと願っています。

十分に指導しておりますが、もし、ご挨拶ができなかったら、どうぞ、おしかりください。それもまた、大切な学習です。

